

小学校再編における 地域学習

～小学校再編による地域衰退はあるのか～

保護者代表分科会
2021年10月7日

目次

1. 町提案の地域学習について
2. 阿井小学校における地域学習の現状
3. 小学校再編後の地域学習……持続可能性
4. 小学校再編と地域衰退
5. まとめ

1. 町提案の地域学習

◆校区別協議会を経て町へ提出した意見・要望内容(1)

・地域と学校が一体となって行われてきた行事は教職員の皆さんに協力
いただいていた。再編をした場合、学校側の関与はなくなるので
「地域のみで完結するよう努めるべき」という町の方針と理解してよいか。
・ふるさと学習(農業体験、地域の歴史学習など)の強度を確保してほしい。
・子供たちと地域との交流はどのように維持するのか。

◆町からの回答

各校区での現在行われている活動をすべて継続することは出来ません。各
学年毎に各地域に分かれて活動を続けるなど新しいやり方で地域とつな
がっていく方法を協議会などで一緒に検討頂きたいと考えております。

小学校再編となった場合、阿井小学校における地域学習は、これまで通りの内容
で行うことが困難と推定され、徐々に縮小し行われなくなる可能性があります。

1. 町提案の地域学習

◆校区別協議会を経て町へ提出した意見・要望内容(2)

地域との連携で現在明らかにされているのは「仁多地域の運動会のように各地区
同一日程で行われる行事の場合、全校参加が可能」とされていますが、その他につ
いては詳細が定かではありません。地域との連携にかかる部分は再編の判断材料
の一つであると考えておりますが、どのような事業をどの程度(授業時間数など)学
校教育として取り組んでいけるのか提示して頂きたい。

◆町からの回答

出来る限り地域の行事にも参加できるように検討を進めたいと考えてはいますが、
基本的には休日や放課後等の自主的な参加を基本とし、原則授業に影響のある平
日昼間は、学校の授業を優先する必要があると考えている。各地区同一日時に
行われる行事や、各学年ごとに各地区に分かれて活動を行う場合には、統合小学校
全体で対応する体制を検討する。

農業体験を統合小学校で行う場合に1つのクラスで各地域に散らばって実施するこ
とは、現実的ではない。農業体験を地域にお世話になりながら実施しようとする
1つのクラスで1つの地域にお世話になると考えています。どの地域に行くかにつ
いては、活動の内容や受け入れ態勢によって異なるため検討が必要。また地域の歴史
学習については、各地域で実施していく可能性もありますが、地域の皆様のご協力
が不可欠だと考えている。

2. 阿井小学校における地域学習の現状

◆阿井小学校における地域学習

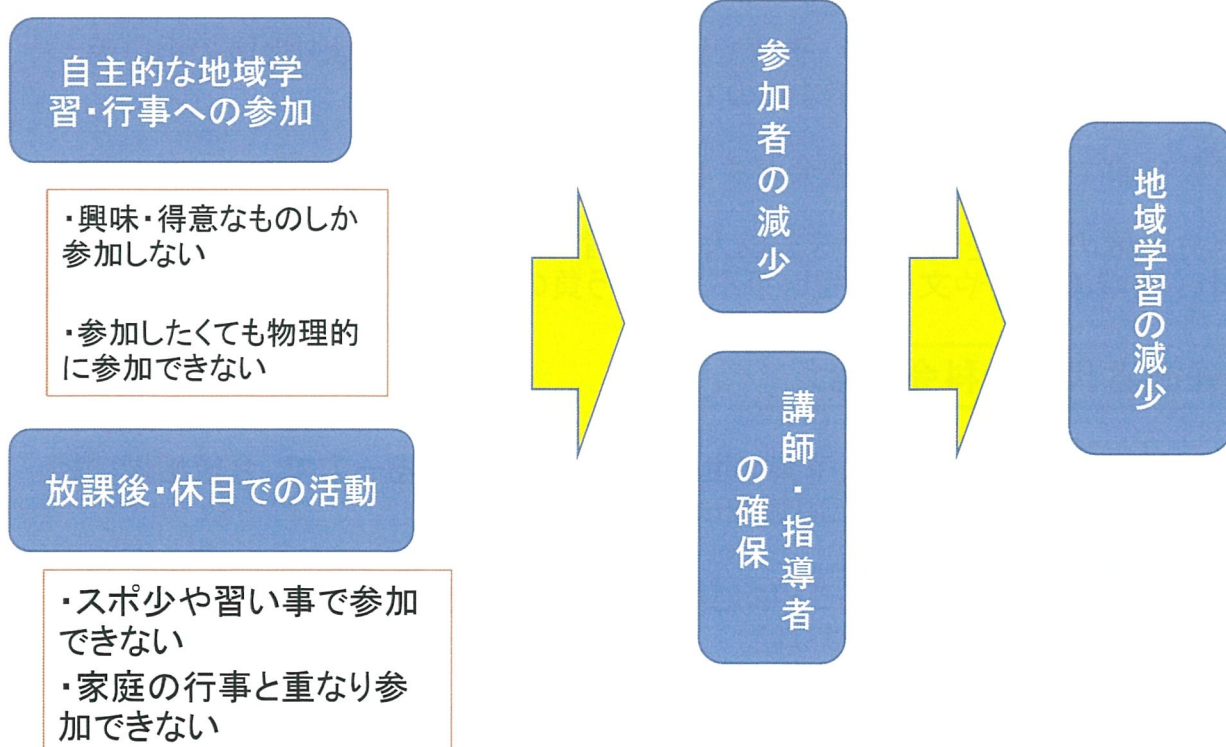
行事	係る地域の人たち（人数）
茶摘み	（コロナ前 10 名程度、下草刈りは多数）
森林学習	5, 6 名
笹巻づくり	（小学校としては行わない）
新茶を味わう会 （相撲大会）	保護者（コロナ前は地域の方 30 名程度）
そばまき	5 名程度？（幼稚園と一緒に、畑の準備や事後）
そば打ち	5, 6 名
阿井川調査	3 名
共進会	10 名程度？
鯛の巣登山	10 名程度（コロナ前は多数）
川東水路	3 名
田植え	10 名程度
たたら体験学習（角炉伝承館）	2 名？
町探検（2 年生・生活科）	5, 6 名
阿井の農作物・工場（3 年生・総合）	5, 6 名
自然体験クラブ（4～6 年生）	5, 6 名

※学年により参加する行事は異なりますが6年間ですべて経験する。

※保護者代表分科会にて調査を行い、最終的に阿井小学校に確認した内容です。

3. 小学校再編後の地域学習

町からの回答より、「小学校再編後の地域学習は、学校の授業からは切り離され、自主的な参加が基本となり、現在行われている活動をすべて継続することは出来ない。」



3. 小学校再編後の地域学習

小学校再編(再編賛成の場合)により、地域学習は縮小・減少

1. 阿井独自の地域学習ができなくなる。(鯛ノ巣登山、共進会、川東水路など)
2. 幼児園児、小学校児童との地域学習を通しての交流が出来なくなる。
(茶摘み、蕎麦まきなど)
3. 生まれ育った地域を学習(知る)する、機会がなくなる。

阿井小学校を中心とした地域学習が減少していくことで、阿井地区の地域に活力が失われ、地域衰退へと繋がるのか。



保護者代表分科会での検証

地域代表分科会での検証

※地域代表分科会へ検証をお願いした

4. 小学校再編と地域衰退

小学校再編(再編賛成の場合)したら、果たして地域は衰退するのか

●地域代表分科会の考え

- ・小学校がなくなることにより、子育て世代のUターンの減少により地域の担い手が減ることで地域活力が低下するのではないか。
- ・学校行事での地域学習の機会が失われる。
- ・阿井地区の魅力を知らないまま成人し、若者たちの故郷に帰ろうという意識が薄れ、地域の産業や文化の担い手不足という負の連鎖につながる可能性がある。

●保護者代表分科会の考え

- ・小学校の統合に関わらず、子育て世代の人口は減少する一方で、今後地域の担い手が増加傾向に転じることが想像しがたい。
- ・小学校を地区に存続させることは地域活性への一役を担ってはいるものの、地域衰退を食い止める手立てではない。
- ・小学校再編問題とは切り離して考えなければいけない課題。

5. まとめ

◆両分科会の一致した意見

地域代表分科会及び保護者代表分科会において、小学校の再編と地域衰退について検証した結果、小学校の有無が地域の衰退に与える影響は、ゼロでとは言えないが、小学校を存続することが解決策につながることは言えない。
地域の衰退については、小学校の統廃合の議論から切り離して考える必要がある。

P.S

阿井地区における地域交流活動については、人口減少、少子高齢化の影響は否めず後継者及び指導者不足という課題はどの行事においても避けては通れません。我々を含め、そのような立場に今現在立っていることを認識し、地域交流活動に積極的に参加して頂きたいと考えています。